

(事例87) 31歳男性、製造業、外傷性てんかん疑いで配置転換、残業制限

類型	症候	疾患
1、2、5	2. てんかん疑い	2. 外傷性てんかん疑い (急性脳内出血後)

きっかけ	<input type="checkbox"/> 健康診断の有所見	<input checked="" type="checkbox"/> その他の機会
<p>1. 対象者のプロフィール</p> <p>1) 年齢、既往歴 31歳男性 特記事項なし</p> <p>2) 業種、作業内容 製造業 ライン作業 (3交代) ・ラインの点検・重量物作業あり・クレーンの運転・暑熱職場</p>		
<p>2. 就業制限・配慮の対象となった疾病、健診値異常 例) 高血圧、HbA1c 高値、腰痛など 外傷性てんかんの疑い</p>		
<p>3. 就業制限・配慮の内容 例) 高所作業禁止、出張禁止、残業禁止、配置転換、治具導入など 現場作業禁止 (机上業務：配置転換)・車通勤禁・1人作業禁止・残業制限</p>		
<p>4. 事例の詳細 (背景、経緯、特に考慮した事情など) トイレで足を滑らせ転倒、後頭部を強打。病院で脳に出血見られた。外傷性てんかん発症の可能性があったため、主治医からの意見をもとに2年間の期限限定で上記配慮を実施。</p>		
<p>5. 就業制限・配慮の主な目的 (複数回答可)</p> <p>1 業務が当該労働者の健康、安全、疾病経過、予後に影響を与える可能性があったため</p> <p>2 企業リスクが予見されたため (交通事故、公衆災害の発生など)</p> <p>5 健康上の理由や能力的な適性から業務を制限する場合 (例：弱視者のVDT作業、疾病などによる計算力低下⇒配置転換検討など)</p>		
<p>6. 就業制限を実施するにあたって注意したこと、阻害要因、問題点などあれば教えてください。</p>		